

## 2024年1月 診療カレンダー

住所:東京都中央区日本橋大伝馬町13-8

メディカルプライム日本橋小伝馬町3階

TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

## 2024年2月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

あけましておめでとうございます  
今年もよろしく  
お願いします



新しい  
予約システム

18時最終受付

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	1	2

## 「今月の言葉」

世の中には辛いことがたくさんありますが、  
それに打ち勝つことでも溢れています  
Although the world is full of suffering,  
it is also full of the overcoming of it.  
～ ヘレン・ケラー ～

## お知らせ

・インフルエンザ予防接種実施中！  
まだまだインフルエンザが流行していますので、  
ご注意ください

今年もよろしくお祈りします

明けましておめでとうございます。

皆さんは年末年始をどのように過ごされましたか？

我が家は伊東の温泉で1泊、大晦日とお正月は自宅で過ごしました。温泉は私も家族も大好きで年に何回か行きますが、その土地の食材を使った美味しい料理をいただいたり、木の香りが漂う温泉に浸ったりすると、これ以上の幸せがあるのだろうかと日本に生まれてきた幸せをしみじみと感ずります。

大晦日は例年どおりNHK紅白歌合戦を観ました。年々名前を知っている歌手が減っていきませんが、今年は薬師丸ひろ子さんの「セーラー服と機関銃」や寺尾聰さんの「ルビーの指環」、伊藤蘭さんの「キャンディーズ・メドレー」など昭和の「懐メロ」も多く楽しかったです。なかでもとくに良かったのはクイーン＋アダム・ランバート「ドント・ストップ・ミー・ナウ」で、フレディ・マーキュリー以外のヴォーカルのクイーンなんてどうなんだろう？と思っていましたが、アダム・ランバートの伸びのある高音のヴォーカルのカッコよさにしびれました。ちなみに、クイーン＋アダム・ランバートは2月に東京ドームで来日公演が予定されています。私は仕事で行けませんが、いつかクイーンのライブに行ってみたいです。

元日の夜は毎年ウィーンフィルのニューイヤーコンサートを楽しみにしているのですが、ご存知の通り能登半島の大地震により放送中止になりました。これを書いている現在も今回の地震による被害の実態の全容は把握できておりませんが、とくに今回壊滅的な被害を受けた輪島市は2015年に家族で訪れたことがあり、朝市通りはまさに食事をしたり買い物を楽しんだ場所でした。明らかに木造密集地域でもあり火災が延焼しやすかったようです。今回の火災の直接的な原因といえるかは分かりませんが、一般的に地震などの災害時、停電の後に起こる「通電火災」には十分な注意が必要といわれています。

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×

●9:00-12:30

「通電火災」とは停電した後に電気が再開したときに火花が散り、発熱発火して火災を引き起こすもので、地震による火災の半数がこの「通電火災」によるものだそうです。今回、地震があった際にNHKのアナウンサーが「直ちに高いところへ逃げる」との強い呼びかけにより多くの命が助かりました。今後の課題としては、「ブレーカーを落として」から急いで避難することが重要ようです。

元日に続き、翌2日の夕方にはJAL516便 エアバス A350と海上保安庁 JA722A DHC-8が滑走路で衝突。JALの乗客、乗員は奇跡的な脱出により全員が助かりました。その一方で海上保安庁の乗員6名のうち5名が命を落としました。事故原因の究明はブラックボックスの解析により今後進められていくと思われませんが、今のところ、いわゆるヒューマンエラーが今回の大惨事につながったとの見方がされているようです。それにしても炎を噴き上げるあの機体から379名全員が助かったというのは乗務員の日頃の訓練と乗客の冷静な対応があったのだと思います。

新年早々容赦ない自然災害と、羽田での大事故に見舞われ令和6年も！？前途多難な予感がします。地震や津波は我々がどんなに注意していても発生しますし、最近増えている自然災害も、いくらCO2削減に努めても温暖化を食い止めることは難しいでしょうし自然災害をなくすことは不可能でしょう。ただし、以前紹介した「ファクトフルネス」にも記載がありましたが、「自然災害による死者数」というのは年々大きく減少しています。これは我々が災害に対応する方法というものを身に着けているからだと考えられます。例えば今回の地震・津波に対応する危機回避能力やスキル、機体が炎上した際の脱出方法など、これまでであれば多くの死者を出したであろう災害や事故でも最小の被害で切り抜ける対応というのがこれからはますます重要になってくると思います。

今年も「備えあれば患いなし」ということで様々な状況に対応すべく気を引き締めて準備を怠らぬに進めてまいります。

このたび被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。